

第5次総合計画 中期戦略事業プラン 事務事業評価シート

事業名	体力づくり推進事業			事業番号	01-103
事務事業担当	部名	部長名	課名	課等の長	
	保健福祉部健康づくり担当	井上 稔	スポーツ課	小巻 宏幸	

計 画 (Plan)

総合計画体系	暮らし力	まちづくり目標	1	誰もが明るく暮らせるまち		
		基本政策	1	健やかに生き生きと暮らせるまちづくり		
		施策展開の方向	1	生涯にわたって健康に暮らせるまちをつくる		
		施策	1	自ら取り組む健康づくりの推進		
予算事業名	体力づくり推進事業費					
事務区分〔選択〕	<input checked="" type="radio"/> 自治事務 <input type="radio"/> 法定受託事務 (選択してください)→			法令上の位置づけ	実施する規定はない	
事業開始年度	開始年度	平成21年度	～	終了年度	-	
関連法令等	スポーツ基本法					
国・県の計画等	スポーツ立国戦略			計画期間	-	
関連個別計画	伊勢原市教育振興基本計画 伊勢原市市民生涯スポーツ推進基本計画			計画期間	平成22年度～平成29年度 平成25年度～平成34年度	
実施の背景 (事業を取りまく環境・市民ニーズ)	少子高齢化社会の進展に伴い、中高齢者における健康増進や体力の維持向上に対する関心が高まっている。また、子育て世代などが気軽にスポーツに親しめる場所、環境が望まれている。					
目的 (何をどうしたいのか)	伊勢原市と東海大学との協働事業とし、総合型地域スポーツクラブ「東海大学健康クラブ」を運営することで、市民の自主的で日常的な健康の維持・増進活動を推進する。また、市民主体で運営する総合型地域スポーツクラブ「伊勢原・ふれすぼ」の運営を支援など、市民の継続的な運動機会の提供や健康づくり、体力づくりの意識向上を図る。					
主な対象 (誰・何を対象に)	市民や各種スポーツ関係団体					
事業内容 (手段、手法など)	<ul style="list-style-type: none"> 伊勢原市と東海大学との包括提携に基づく事業として、東海大学健康クラブによる「東海大学市民健康スポーツ大学」を実施します。 新たな総合型地域スポーツクラブ「伊勢原・ふれすぼ」のクラブ運営を継続支援し、より多くの市民に運動の機会を提供するとともに、スポーツを通じた交流の場を設けます。 伊勢原ウォーキングガイドの活用や住民総参加型スポーツイベント「チャレンジデー」の参加により、健康づくり、運動・スポーツのきっかけづくりを行います。 					
事業行程	項目	年度		28年度	29年度	
		東海大学市民健康スポーツ大学	継続実施	継続実施		
	伊勢原・ふれすぼ	継続支援	継続支援			
	住民総参加型スポーツイベント「チャレンジデー」	継続実施	継続実施			
目 標	【指標名】	【現状】	年度		28年度	29年度
			健康促進プログラムの提供を受けた市民の延べ人数(累計)	364人	600人	720人
	各種スポーツ教室の参加人数	835人	900人	1,000人		
	15分以上続けて運動やスポーツをした住民の参加率(%)	39%	50%	55%		



事業実施(Do)へ

事業実施 (D○)

事業の「取組方針」 (前年度事務事業評価)	総合型地域スポーツクラブの継続的な運営支援を行うとともに、ヘルスアップ対象者に対する事業周知を図っていく。「東海大学健康クラブ」については、受講者の3年卒業制を維持するとともに修了者の自主的なグループ「楽遊会」の運営支援を行う。また、庁内関係機関、各種団体等と連携し、住民総参加型スポーツイベント「チャレンジデー」に参加し、継続的な運動の習慣化を図ることで健康づくりを推進する。		
実施方法 〔選択・記入〕	○ すべて直接実施 ● 左記以外		
	<input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理	委託先又は指定管理者	チャレンジデー実行委員会
	<input checked="" type="checkbox"/> 補助金	補助先	東海大学健康クラブ
	<input checked="" type="checkbox"/> その他	具体的内容	伊勢原・ふれすぼへの補助(日体協を経由しスポーツ振興くじtotoの直接補助)
実施結果	項目	年度	
		28年度	29年度
	東海大学市民健康スポーツ大学	継続実施	
	伊勢原・ふれすぼ	継続支援	
住民総参加型スポーツイベント「チャレンジデー」	継続実施		
実施した取組の内容	東海大学健康クラブは、運動、栄養等をテーマとした講座を年間72回実施し、伊勢原・ふれすぼでは、子育て中の保護者を中心に保育付きエクササイズ、ヨガ教室等を実施したほか、市民からの要望により、ノルディックウォーキングやシニアダイバミック教室を実施した。さらに、チャレンジデーへの参加やクルリン健康ポイント事業の開催など、市民の健康意識の高揚と運動やスポーツの習慣化を図った。		
目標の達成状況	【指標名】	【現状】	年度
			28年度
	健康促進プログラムの提供を受けた市民の延べ人数(累計)	364人	590人
	各種スポーツ教室の参加人数	835人	2,535人
15分以上続けて運動やスポーツをした住民の参加率(%)	39%	53.1%	

コスト	年度	28年度 実績				29年度 実績				
	事業費合計(a)		6,525	千円		千円				
	内訳	国県支出金 ①	5,690	千円		千円				
		地方債 ②	0	千円		千円				
		その他特財 ③	214	千円		千円				
		一般財源 (a)-①-②-③	621	千円		0 千円				
	国県支出金の内容		地方スポーツ振興費補助金 補助率:定額							
	その他特財の内容	受益者負担	● 有 ○ 無		前回の改定時期	クルリン健康ポイント事業参加者負担金(平成28年8月8日)				
		その他								
	人件費	正規職員	0.5	人	4,325	千円		人	千円	
		その他の職員	0	人	0	千円		人	千円	
		人件費合計(b)	0.5	人	4,325	千円		人	千円	
	トータルコスト (a)+(b)				10,850	千円			千円	
	単位当たりコスト	対象数	定義	総合型地域スポーツクラブ等の参加者数		単位		単位		
			対象数	5,929	人					
総事業費/対象数		1,830	円		円					

↓ 評価 (Check)へ

評 価 (Check)				
進捗状況 〔選択・記入〕	<input checked="" type="radio"/> 計画どおり (A) <input type="radio"/> 概ね計画どおり (B) <input type="radio"/> 計画どおり進捗せず (C)	A	左記判断理由	東海大学と連携した「東海大学健康クラブ」の運営を支援し、市民に健康促進プログラムを提供した。また、市民主体で運営するクラブ「伊勢原・ふれすぼ」に対しても継続して運営を支援した。また、市民の健康づくりへのきっかけとして、「チャレンジデー」に参加(3回目)し、さらに「クルリン健康ポイント事業」を実施し市民の運動への習慣化を図った。
実施水準 〔選択・記入〕	<input type="radio"/> 他市より高い水準で実施 (A) <input checked="" type="radio"/> 他市と同水準で実施 (B) <input type="radio"/> 他市より低い水準で実施 (C) <input type="radio"/> 一律に比較できない事業	B	他都市の事業内容等	総合型地域スポーツクラブは、文部科学省の「スポーツ振興基本計画」の中で、全国の各市町村に1クラブ以上を育成することが目標とされている。現在、神奈川県内には、設立済みが90クラブ、設立準備中が2クラブとなっている。近隣市では、厚木市1クラブ、秦野市1クラブ、平塚市4クラブが設置され活動している。
有効性 〔選択・記入〕	<input checked="" type="radio"/> 高い (A) <input type="radio"/> 普通 (B) <input type="radio"/> 低い (C)	A	左記判断理由	「東海大学健康クラブ」は、伊勢原市と東海大学との包括的な連携に基づき、市と大学との協働運営により、専門的な運動プログラムを提供することで、より質の高い事業が展開できた。また、「伊勢原・ふれすぼ」では、世代を超えた地域交流を基本に、母子健康の増進や継続的な運動習慣の機会を提供できた。さらに、「チャレンジデー」や「クルリン健康ポイント事業」を開催することにより、運動の習慣化を推進した。
効率性 〔選択・記入〕	<input checked="" type="radio"/> 効率的に実施されている (A) <input type="radio"/> 改善の余地がある (B) <input type="radio"/> 抜本的な改善が必要である (C)	A	左記判断理由	市内の大学や市民との連携により、総合型地域スポーツクラブを展開することで、クラブの自主的な運営が行われ、より多くの市民に運動の機会を提供した。また、クルリン健康ポイント事業では、国庫補助金の有効活用により、市単独経費の削減を図り、市民の健康づくり、体力づくりを推進することができた。



取組の改善 (Action) へ

取組内容の改善 (Action)				
所属長による今後の方向性の判断	方向性 〔選択〕	<input checked="" type="radio"/> 現状のまま継続 <input type="radio"/> 見直しの上継続	事業推進上の課題	東海大学との連携による事業効果が認知され、参加者のリピート率が高く、新たな参加者枠の確保として3年卒業制が確立され、卒業生による自主的なグループも積極的に活動している。今後は、特定保健指導対象者には該当しないが、中性脂肪の数値等から予備軍とされるヘルスアップ対象者に対して、総合型地域スポーツクラブへの積極的な参加を促すため、魅力あるプログラムを提供する必要がある。
次年度の取組方針		総合型地域スポーツクラブの継続的な運営支援を行うとともに、継続的な運動が必要なヘルスアップ対象者に対する事業周知を行う。また、庁内関係機関、各種団体等と連携し、住民総参加型スポーツイベント「チャレンジデー」への参加や運動・スポーツの習慣化を促進するため「クルリン健康ポイント事業」を開催し、運動・スポーツに無関心な層も含めて、多くの市民が参加しやすい運動プログラムを提供する。		
所管部長による総評		市民の日常的な健康の維持、増進活動を推進するためには、市内の地域資源を活用し、関係機関や団体との更なる連携を進め、事業を推進していく必要がある。また、市民の運動やスポーツ活動の習慣化を図り、健康増進や生きがいづくりを推進する取り組みを充実させていく。		